## WAKU WAKU

熊野で一番小さなクラスの一番大きな挑戦

















図工の学習で「コロコロガーレ」という作品を作りました。

これは、4階建ての一番上の台から、ビー玉を転がしながら下の台へ落としていくこと を楽しむ工作です。各階の台は自分が工夫して作ったコースになっており、簡単に下へは 落とせないようになっています。

思っていたより大型の工作になったので、持ち帰るのが大変そうなのですが、子供たちの表情からは満足感もうかがえます。

現在、図工では「ありがとうのちょっと大きな絵手紙」の作品づくりに取り組んでいます。 "ヘタがいい! ヘタでいい!" を合言葉に、味わいのある絵手紙が仕上がりつつあります。絵や書をきれいに仕上げるのは難しいですが、子供たちにとってはあえてヘタに仕上げるのも難しいみたいで、どんな作品に仕上がるのか楽しみです。